

令和5年 第4回定例会 一般質問通告表

NO. 1

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
1	4	名取 明美	1 行政	時代の変化に合わせた地域の活性化について	<p>新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日から「5類感染症」になりました。</p> <p>我が町においても、様々な町の行事、各自治会活動等が再開され、行灯行列、ふるさと夏祭り、町民大運動会等多くの町民の参加があり、町の活気が戻りつつあります。</p> <p>時代の変化に合わせた「地域の活性化」を、令和5年を振り返り、今後の町の方向性あるいは未来の方向性として、さまざまな視点、観点がありますが、高齢者、こどもと家族、観光客の方向性に重点をおいて考えたいと思います。</p> <p>高齢者の方向性は、オレンジカフェ事業（認知症講話）への関心が高まり、参加者が増えています。昨今、介護度の高い方が、入所待機者となり、自宅で生活している傾向が見られます。また、介護施設での働き手不足や施設の受入れ員数の減少により、今後、より多くの待機者が出る事が予想されます。こどもと家族の方向性では、安心して遊べる場所と子育ての情報交換できる場所づくりが必要です。</p> <p>さらに、観光客の方向性では、感染予防しながら安心と経済的負担の少ない観光地探しにより、美深温泉キャンプ場が脚光を浴びている状況です。</p> <p>令和5年を振り返ると、高齢者の声とこどもと家族の声、さらに観光客の声を耳にするのです。</p> <p>町長に、町の活性化の方向性についてお伺いします。</p> <p>1 第9期美深町高齢者保健福祉計画・美深町介護保険事業計画の介護保険料の基準額の見直しについて伺う。</p> <p>2 介護認定者の増加を抑えるために、健康寿命の延伸と介護予防に対する意識を高めていく必要があるが、行政として、フレイル体操といきいきサロンなどに参加するように広報活動し、高齢者の介護予防の意識を高めてみてはいかがか。</p>	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
					<p>3 認知症対策への関心が、高まっている中、「ほっとプラザ☆スマイル」を健康維持センターあるいは介護予防センターなどの機能のある複合施設にしてはいかがか。</p> <p>4 美深温泉のキャンプ場において、多くの人が集まり、安心な場所として活気がある。美深温泉ふるさと館は、美深町の重要な施設であるので、この施設を温泉の宿泊施設にとどめず、町民と観光客が、雨の日、熱中症予防、冬期間などにも室内で、利用できるようにすることで、美深温泉の施設全体のサービスの向上と経営の改善につながるのではないか。</p>	

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
2	3	中瀬 亮太	1 産 業	水田活用に伴うブロックローテーションの課題について	<p>6月定例会でも一般質問させていただきましたが、水田活用直接支払交付金については令和8年度に廃止される事業であります。</p> <p>令和5年度においては、畑地化支援対象者が43件194ha程度が該当になる見込みで、これにより水田活用直接支払交付金は約1億9千8百万円程度となることが予想され、昨年度に比べると約1億円の減額となる見込みであります。</p> <p>美深町の水田面積及び将来において安定的な農業収入を守るためには基盤整備を実施しブロックローテーションを活用した収入の確保は不可欠であると考えます。交付金が無くなる事により、生産者が先の見えない中で自力施工には事業費の負担が大きいため限界があるのではないかと考えます。</p> <p>また、国等の事業においては事業要件や事業申請に3年程度の時間を要しますし、実際に該当する事業が見つからない事実があります。事業が見つからないまま水田活用交付金が廃止される前に、町の課題に対する対応策や支援について町長の考えを伺います。</p>	町 長
			2 行 政	少子化対策に向けた子育て事業の拡充について	<p>美深町では様々な子育て支援を行っており、更なる充実が期待されると思われるが、その中でも出産を予定している方や出産された方々への更なる手厚い支援が不可欠であると考えます。</p> <p>現在、美深町で出生された子どもは令和2年19人、令和3年14人、令和4年19人となっているが、亡くなっている方々が約4倍の人数になっており、人口減少がより一層深刻な問題となっている状況である。</p> <p>美深町で子どもを育てたいという方が一人でも増えるような少子化対策が必要ではないかと考えるので、準備金・祝い金の増額の考えはないか伺います。</p>	町 長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
3	6	田中 真奈美	1 教育	子どもたちの部活動・少年団について	<p>2023年から本格的に動きだしてきている教員の働き方改革として、部活動の運営体制が取り上げられている。</p> <p>現在美深町はボランティア休暇をとりながら小学校などで指導の手伝いをされている方もいるが、指導者不足の問題があるように思われる。</p> <p>部活動の選択肢も少なくなったため、子どもたちのスポーツ離れは長い目で見た時に深刻なもので、健康な心と身体づくり、最終的には健康寿命にもつながってくると考えている。</p> <p>現在は多くの小中学生が少年団や部活動に入っているが、今後もスポーツに親しみながら身体づくりをしてほしいと考えた時に、今から様々な問題点について考え、美深町独自の取り組みを進めていくべきではないか。</p> <p>これから本格的な地域移行が進んできた際に、日が落ちてからの練習となることも想定したときの、ナイター設備も含めたこれからの対応として、どう考えているのかを教育長に伺う。</p> <p>1 今から進めていかなければならないと思われる外部指導員の派遣や指導者育成について</p> <p>2 ナイター設備の現在の状況</p>	教育長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
4	1	木下 広悠	1 行政	給食費無償化について	<p>現在多くの地方自治体は人口減に悩みながらも改善策としてあらゆる手を打っていて、その中の一つに給食費無償化がある。上川管内では18市町村の内3自治体が無償化に踏み切っているが、数としては依然として少なく、まだまだ先行者利益も期待出来るので美深町でも是非一考して頂きたい。また、仮に無償化を目指すとして行政側として予測出来る懸念点があれば伺いたい。</p>	教育長
				美深町の未来を見据えた産業政策	<p>現在美深町では脱炭素推進に力を入れているが、雪冷熱エネルギー活用の議論は視野に入れているか。</p> <p>例を挙げると、冬季に集めた大量の雪を貯蔵庫で春から夏にかけて保存しておき、夏季には貯めていた雪に空気を触れさせて送風し、温かくなった空気を貯蔵庫に送り返して循環させる雪冷房がある。</p> <p>それにより電気代は従来の数分の一程度に廉価にする事が可能。</p> <p>当然企業誘致にも繋がり、何よりCO2排出量を大幅に削減出来るので美深町の目指す所と上手くマッチするのでは。</p> <p>北海道内では雪冷熱エネルギーを既に利用している自治体は美唄市と沼田町が知られていて、美唄では日本初の雪冷房マンション「ウエストパレス」を建設したり、JA美唄が低温貯蔵施設に玄米を気温5度湿度70%に保ち、一年中新米と変わらない米を出荷出来たりと自治体としての可能性を広げている。</p> <p>豪雪地帯としての地の利を生かした新たな視点のエネルギー開発で美深町再興を目指してみては。</p>	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
5	2	望月 清貴	1 行政	美深町総合計画 草野町長はじめてのローリング結果について	<p>総合計画は、当初計画の策定後は各年度でローリングを行い、情勢変化や行政ニーズなどへの対応を進めていると考える。</p> <p>予算編成を控えたこの時期に状況を聞く必要性が高いと考え、今年度のローリング結果の概要を伺う。</p> <p>(9月1日付行政評価報告書によれば、86の主要施策、162の事務事業があるが、町長、教育長の考えによる抜粋により答弁願いたい)</p> <p>1 総合計画の各基本目標のローリング結果概要とポイントは。 (例示として新規事業、変更や廃止、継続だが重要などの案件を中心に)</p> <p>2 結果のうち、特に町民に知らせたいことや協力を求めたいことはないか。</p> <p>3 各基本目標にまたがる課題と思われる点として、さきの答弁にあった横断的な働き手の確保に向けた協議の状況はどうか。</p> <p>※上記項目1と2について、基本目標3の分野は、教育長に伺う。</p>	町長 教育長
			2 社会福祉	保健福祉関係計画(案)の概要等について	<p>今年度3月までに策定を行う向こう3年間の高齢者保健福祉計画、合わせて策定する介護保険事業計画、そして障がい者福祉計画について、現時点では「案」の段階と考えるが、策定内容の概要等について伺う。</p> <p>1 高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画の重要課題や主な方向性と、私たち町民に必要な心構えは。また、次の各項目の状況は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口、要介護者等、介護サービス標準給付費等見込額、介護保険料のそれぞれの推計状況は。(高齢者人口と要介護者等、保険料算出に必要な標準給付費等見込額は、第8期との比較で) ・本町の予防、救急を含めた医療提供と、地域包括ケアにおいて重要な役割を持つ美深厚生病院の今後の病床機能について。 <p>2 障がい者福祉計画の基本目標など、主な方向性と、私たち町民に必要な心構えは。また、次の各項目の状況は。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる各手帳所持者数等の現状、新たな取り組みなどの状況は。(対象となる各手帳所持者数等の現状は、令和2年度との比較で) 	町長

通告順	議席番号	通告者	項目	件名	質問の要旨	答弁者
6	7	小口 英治	1 産 業	美深振興公社の健全経営について	<p>美深振興公社は昨年7月資本金の増資とアウルとの合併で営業基盤の強化を目指し、先般の9月議会では、入館料以外は明年1月1日から、また入館料についても4月1日からの値上げが決定したが、日帰り客の昼食や夕食の提供もできていない状況です。</p> <p>特に12月は、1年のうちでも最も重要な時期です。以下の要点を中心に考え、方針を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 過去には町職員の派遣もあったが、今後の考えはどうか。 2 温泉提供のチョウザメ料理の開発は。 3 町として経営安定に向けた指導等は。 	町 長
			2 社会福祉	美深厚生病院の病床機能の変更について	<p>美深厚生病院がすべて療養型に変更されることに伴い以下の要点を中心に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 救急搬送の患者・外来診療の受入は従来通りになるのか。 2 デイサービスの受入に変更はないのか。 3 病床機能の変化で、美深町としての運営支援補助金にどのような影響がでてるのか。 	町 長
			3 行 政	道有住宅の在り方について	<p>道有の職員住宅の取扱いについて、該当する官庁などにどのような要望等を行っているのか。長期の空き家の除去、払い下げなどの協議はあるか伺う。</p>	町 長